

鯨城ニュース

第24号

平成25年6月発行

特集 新会長による運営方針・行事活動状況について

ホームページアドレス <http://www.kojyokai.net/>

発行/名古屋市高年大学鯨城会

編集/広報委員会

新たなる鯨城学園のスタートに向けて

名古屋市高年大学鯨城学園 副学長 松浦 滋



鯨城会会員の皆さまには、日頃から鯨城学園に温かいご支援を賜りありがとうございます。

一昨年の中名古屋市の行政評価で「廃止」判定を受けましたが、鯨城会の皆さまの精力的な署名・請願活動もあり、名古屋市に学園存続・継続へのアピールができました。

昨年8月、高年大学あり方検討委員会より「高年大学鯨城学園あり方提言書：共に学び生かしかい次代へつなぐ鯨城生」を名古屋市へ報告し、その後、名古屋市社会福祉審議会より、平成26年度以降の高年大学鯨城学園は、「抜本的な見直しは前提ではあるものの継続が妥当」との答申がなされました。

今年1月の学長講話で、河村市長は「平成25年度で指定管理が終了する。平成26年度以降の学園運営については、現在の半額程度の補助金で運営できるようにする」と話されました。つまり、学園の内容から運営全てにわたって大きく変わります。

鯨城学園は、学園設立以来「高齢者の生きがいつくりと地域活動の核となる人材養成」という設立趣旨に基づいて運営してまいりましたが、今まで以上に学園での学びを地域社会に還元することが求められております。

個々の学びだけではなく、卒業後、地域社会への貢献を通して周りの人々や社会に影響を与え、ひいては地域社会の活性化につながる、まさに「学びの循環」のモデルといえます。

今年度より新しいプログラム「地域ミーティング」は、区鯨城会の皆様の絶大なるご支援を賜りスタートしましたが、軌道に乗るまではクリアしなければならない点があるかと思えます。卒業後、地域活動にスムーズに参加できる体制づくりを、区社会福祉協議会との連携を図りつつ、ぜひ成功させたいと願っております。

「抜本的な見直し」の内容についての詳細は明らかではありませんが、高年大学鯨城学園の設立趣旨の三つの柱は堅持し、「新たなる高年大学鯨城学園」の方向性を見失うことなく、名古屋市の高齢者支援の一環として発展させたいと考えております。

今後とも、絶大なるご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

目次

表紙 松重開門

副学長挨拶	1
平成25年度 鯨城会活動計画	2
鯨城学園は「抜本的見直しを前提に存続」する	3
「今後の鯨城会をよくする委員会」について	4
区会会長兼区会代議員・鯨城会役員・監事・幹事各名簿	5
新役員紹介と活動目標	6
平成24年度名古屋市高年大学鯨城会決算書	7
平成25年度名古屋市高年大学鯨城会収支予算書	8
特集 新会長による運営方針・行事活動状況について	9~16
鯨城学園だより	17
学生協議会ニュース	18
第9回グラウンド・ゴルフ交歓会成績表	19
「こころの絆創膏配布キャンペーン」に参加	19
鯨城OB文化祭開催顛末話	20
平成25年度各区会展示会予定について	21
表紙説明・訃報・編集後記	22
裏表紙 第28回公開講演会のお知らせ	

平成 25 年度 鯨城会活動計画

鯨城会会長 堀 場 慶 夫



平成 25 年 4 月鯨城会会長に就任させて頂きました堀場でございます。

鯨城会が益々発展するよう尽力する覚悟ですので、ご協力の程よろしく申し上げます。

鯨城会会員の皆様には、日頃より鯨城会に対してご理解とご協力を頂き心より感謝申し上げます。また、平成 25 年度も多くの会員の方をお迎えし、鯨城会としては心より感謝すると共に、歓迎させて頂きます。

さて、皆様もご存知の通り名古屋市の事業仕分けで、僅か 1 票差で廃止の評価を受けました。その後、学園存続に向けて会員の皆様と共に、請願署名の活動をして 23,189 名の署名が集まりました。その結果、平成 25 年度は、抜本の見直しということを前提に学園の存続が決まりました。私達鯨城会としては、各区で精力的にボランティア活動を推進してきましたが、残念なことに市民の皆様にご理解を得ることが出来ませんでした。こうしたことを踏まえて、25 年度の活動計画として、各区鯨城会で取り組んでいる地域活動の充実を図り、24 年度には新聞、テレビ等で取り上げて頂き、市民の皆様にも一定の理解を得ました鯨城会クリーンキャンペーン、堀川清掃大作戦、公開講演会、「メイク・ア・チェンジ」デー等積極的に参加し、地域活動に重点を置き鯨城会、学園、学生会と連携を図り、広く市民の皆様の理解を深めるよう取り組んで行く所存です。平成 26 年度以降については課題点もあります。鯨城学園に対して指定管理料の予算を半額程度縮減するという事です。これに関連して私達鯨城会は更なる難局を迎えるものと覚悟して進んで行きたいと思っています。会員の皆様、鯨城会発展のために、鯨城会会員一丸となって進みたいと考えていますので、会員の皆様の一層のご理解とご協力をお願いする次第です。

【25 年度運営のモットー】

☆明るく、楽しく活気ある鯨城会のパワーを会員と共に発揮する☆

【25 年度運営方針】

- 1、学園設立の趣旨についてもう一度見つめ直し、卒業後には地域活動へ積極的に参加し、鯨城会を一層盛り上げて全員の力で活動していく。
- 2、会員から信頼される鯨城会、市民より評価される社会貢献活動の実施。
- 3、各事業計画は会員のニーズ・社会変化を取り入れ、より充実した内容で実施する。
- 4、各区会との連携を強化し、諸活動への積極参加を目指す。
- 5、社会福祉協議会との連携を密にし、定期的会合を通じてお互いの意思疎通を図り、その趣旨に基づき積極的に協力する。
- 6、地域活動の核となる人材育成のため「地域ミーティング」への積極的参加。

【25 年度事業計画】

- 1、鯨城ニュース年 2 回発行。
- 2、鯨城会ホームページを見やすく、親しまれる内容で情報の充実を図る。
- 3、公開講演会年 2 回開催。
- 4、鯨城 OB 文化祭年 1 回開催。
- 5、鯨城学園、区会、在校生が鯨城会と一体となって社会奉仕活動の実施。
- 6、図書室ボランティア運営の管理。
- 7、区会社会奉仕活動連絡協議会の開催。
- 8、グラウンド・ゴルフ交歓会年 2 回開催。
- 9、鶴舞公園クリーンキャンペーン・堀川清掃大作戦の実施。
- 10、「メイク・ア・チェンジ」デー、ボランティア活動への参加。
- 11、その他事項の取り組み
 - ・在校生の各区会行事等への参加促進を学園と連絡調整。
 - ・地域ミーティング年 3 回実施。(1 年生 2 回、2 年生 1 回)

鯨城学園は「抜本の見直しを前提に存続」する

鯨城会平成24年度会長 寺田 耕一郎

平成24年度は鯨城会にとりまして最大の収穫は鯨城学園が条件付きとは云え、存続が決定したこととであります。鯨城関係者にとりまして大きな成果であり喜びであります。私は機会あるたびに鯨城学園は名古屋市の高齢者の生きがい施策としては、時宜を得た事業であり、廃止することは時代に逆行することになり、ぜひとも存続すべきであると主張してまいったところであります。そして紆余曲折はあるにせよ最終的には、存続するものと確信しておりました。勿論不安もありましたが、こうして存続できましたことは鯨城会の皆様方の署名活動などの運動の展開や関係者の温かい支援のおかげと衷心より感謝申しあげるしだいです。この事は鯨城学園の長い歴史の1ページを飾ることになり、後世の方々から評価されるものと信じます。そこで平成23年度開催の所謂事業仕分けから存続決定に至るまでの2年にわたる経過を時系列に集大成し、記録に留め置くべきと考えたしだいです。

- 1 平成23年10月23日に開催された名古屋市行政評価（外部評価）、所謂事業仕分けにおいて鯨城学園は廃止することを決定しました（廃止9名、見直し8名の1票差）。廃止とする意見は、「個人の集まり」、「老人クラブ活動で充分」、「地域還元がされていない」、「対象者がかぎられている」、「他施設でできる」などでありました。また、見直しをするとの意見は、「自己負担額の引き上げ」、「対象年齢引き上げ」、「市の類似施設共用」等でした。
- 2 斯くの如き理由により、僅か1票差での廃止決定をうけて、急遽日比野会長は寺田、山道両副会長始め鯨城会幹部を招集、対応策を協議決定した。まず、23年10月31日鯨城学園存続を求める嘆願書を作成し、市議会議長に提出存続を要請いたしました。引きつづき学生会と共同して署名活動を展開するとともに市議会各会派代表者に存続の嘆願書を提出した。各会派とも存続に向けて前向きな回答をいただきました。
- 3 平成23年11月22日河村市長に学生会と一緒に面談、学園存続を強く要請した。市長の回答は持論の民営化論の展開に終始し、存続に対し明確な回答は得ることができなかった。
- 4 同年11月28日すでに提出した嘆願書は法的拘束力が弱いことから、第二の矢として請願書を提出する事にし、22,558名の署名簿を集め市議会に提出いたしました。
- 5 平成24年1月23日市議会財政福祉委員会で請願に対する口頭陳述の機会があたえられた。請願は、同日反対なしで採択となりました。いまにおよんで思えば、請願書の提出、採択が大きく存続に働いたと随所で感じました。
- 6 同年1月23日市長は、諮問機関である社会福祉審議会に対し鯨城学園の存廃について諮問した。同審議会はこのことについて調査研究のため「今後の高齢者の生きがい施策のあり方検討会（以下「検討会」という。）の設置を決定しました。
- 7 検討会は4回（4月23日、6月18日、7月30日、9月6日）の調査研究を実施し報告書を策定しました。6月18日の検討会には寺田会長が利用者代表として意見陳述の機会を与えられました。
- 8 平成24年10月15日社会福祉審議会は、検討会で策定した報告書について審議承認し市長に答申した。

答申の主文は「事業の推進にあたっては、抜本的な見直しをその前提条件とすべきであり、次の点に留意すべきであると述べている。

- ① 定員の拡大
 - ② プログラムや学科内容の再編
 - ③ 社会活動につながる仕組みづくり
 - ④ 学科担任（教授）の見直し
 - ⑤ 運営経費の節減
- 9 平成24年12月市は前記答申を受け、次のような取組方針を決定公表している。

その内容は基本的には当然ながら審議会の答申を踏襲するものでありますが、重要事項でありますので、記載します。社会福祉審議会における「地域活動を推進するリーダー層の育成や、高齢者の生きがいを高め社会参加を促す場として、重要な役割を担うことが期待される事業であり、引き続き当該事業を実施することが適当である。しかしながら市民判定員から問題や課題について、様々な指摘がなされていることから、事業の継続にあたっては「抜本的見直し」を行うことを前提として、現行の「指定管理者制度」に基づき、民間法人による運営を継続する」というものである。抜本的見直しについては、平成26年度から定員（学生数）の拡大、年額授業料の値上げ、プログラムの見直し等を行うこと等により、運営経費（指定管理料）を半減し、公費負担を縮減するとの方針が示されています。平成25年2月報道機関に対する予算説明においても上記と同様の説明があり、存続が確かなものとして知ることとなった。

- 10 平成25年度の見直しは、極めて小幅なものであります。すなわち25年度迄は現行の指定管理期間にあり、大幅な見直しは制度的に無理があるからと料される。従って25年度予算ベースで300万余円の縮減のみであります。
- 11 社会福祉協議会（以下「社協」という。）は、鯉城学園のあり方検討委員会（以下「委員会」という。）を設置し、都合4回委員会を開催し提言書を作成した。これは指定管理者自らの改革案であり名古屋市に提出されました。提言の内容については、鯉城ニュース23号で詳述してあるので本稿では省略しますが、存続に大きな役割を果たしたものと確信しています。なお、会長も委員として提言書作成に参画しています。
- 12 平成25年3月27日市は、鯉城会・学生会・指定管理者を招集し鯉城学園に関する意見交換会を開催し、見直しについての「素案」を提示しました。その素案の骨子は①入学願書提出時に地域活動宣言（作文）の提出や在学中から地域活動のきっかけを作り、行動する。②地域活動学習講座の新設、③4コース10専攻（16クラス）にして学生数760名に増員。④授業料年間48,000円、⑤コーディネーター制の導入などです。

今後のスケジュールとして、4月中に指定管理者募集の仕様書を確定、7月には新しい指定管理者を選定し、9月定例市議会の議決を得るべくとの段取りが示されました。そしておよそ半年かけて新指定管理者の元で開学の準備を経て、平成26年4月新生鯉城学園が開学の運びとなりましょう。より一層、多くの市民から愛され、期待される学園に進展することを祈念しつつ擱筆します。

「今後の鯉城会をよくする委員会」について

今後の鯉城会をよくする委員 桧山邦夫

鯉城学園の存続は、「高年大学鯉城学園のあり方検討委員会提言書」を条件に抜本的改革とし、継続することとなった。このことは鯉城会にも影響し、そのため学園運営への協力、鯉城会の安定運営のため、速やかな検討と対応を図るものとし、「今後の鯉城会をよくする委員会」として、平成24年9月から各区会長を中心に委員会を立ち上げ「あり方検討委員会の提言書」に基づき検討をつづけてきた。

そして名古屋市が26年度からの鯉城学園の指定管理者を選定するにあたり、鯉城会として現在指定管理者である、市社会福祉協議会（以下市社協）への協力が必要となり、学園・社協・鯉城会が一体となり情報交換を密にし、迅速な対応処置を図る目的のため、25年度も継続し、委員会の中に分科会を設け検討し対応することとなった。

- 分科会と検討事項**
- ①組織及び運営改革検討会：鯉城会組織の見直し、鯉城会本部運営の見直し
 - ②法人化検討分科会：法人化の必要性、スケジュール、鯉城会財源確保
 - ③渉外関連分科会：名古屋市、社協、鯉城学園との協議等
 - ④鯉城学園運営協力検討分科会：クラスサポーター、鯉城会運営の講座開催等

メンバー構成は、25年度鯉城会会長・副会長及び24年度と25年度の代議員とし委員会での検討期間は、市社協が26年度からの指定管理者を目指すための準備期間を踏まえ、4月から10月末を目途とする。ただし必要により継続もありえるものとする。 （花水木鯉城会 22期 生活A）

25 年度区会会長兼区会代議員名簿

区 会 名	期・学科	氏 名
花水木鯨城会	24・環境	田畑 忠良
東鯨城会	25・環境	神部 泰三
北鯨城会	23・園芸	秋田 輝長
西こじょう会	23・地域	陸浦 幹雄
中村鯨城会	25・文化A	住田 修
中鯨城会	23・生活B	多川 裕弘
昭和鯨城会	25・園芸	北川 勝彦
瑞穂鯨城会	25・国際	長谷川 博

区 会 名	期・学科	氏 名
熱田鯨城会	24・地域	瀧川 政久
中川鯨城会	24・国際	田中 利明
港鯨城会	25・地域	鳥山 正義
南鯨城会	24・陶芸	佐野 達郎
守山鯨城会	24・生活B	箕浦 元佳
緑鯨城会	24・園芸	伊藤 文雄
名東鯨友会	24・園芸	竹尾 明
天白こじょう会	24・美術	豊田 悦造

25 年度鯨城会役員・監事名簿

役 職	期・学科	氏 名	区会
会 長	24・環境	堀場 慶夫	中村
副会長	25・文化A	河合世輝代	中村
副会長	24・生活A	柘植 鍾二	緑
総務委員長	25・美術	福島 健治	南
会計委員長	25・健康	渡辺 京子	天白

役 職	期・学科	氏 名	区会
広報委員長	25・文化B	館 敏也	昭和
行事委員長	24・園芸	山崎 廣徳	中川
社会奉仕活動委員長	24・国際	稲田 萬吉	東
区会活動委員長	25・生活A	栗木 一	名東
ホームページ担当	23・生活A	池田 正子	中村
監 事	23・地域	寺田耕一郎	瑞穂
監 事	24・地域	林 美也子	瑞穂

25 年度鯨城会幹事名簿

所属部署	期・学科	氏 名	区会
総務委員	26・文化B	岩尾 秀樹	西
〃	26・陶芸	石川 眞	昭和
〃	26・生活A	原田 照子	千種
会計委員(総務)	26・健康	安達ひろ子	南
広報委員	24・環境	原 清隆	北
〃	24・生活B	岩井海南子	港
〃	25・国際	梅田 国清	中
〃	26・地域	中村さよ子	中
〃	25・美術	猪飼 甫	中川
〃	25・健康	佐野 朋子	港
行事委員	25・福祉	水野 重民	守山
〃	26・陶芸	奥田 忍	名東

所属部署	期・学科	氏 名	区会
行事委員	25・美術	楠元 和博	緑
〃	26・陶芸	夏目 常生	瑞穂
〃	26・生活B	富田 友子	中村
社会奉仕活動委員	25・地域	小田 宏企	瑞穂
〃	26・園芸	増田 淳子	北
〃	24・文化A	小畑 昌子	熱田
〃	26・陶芸	木村 伊市	守山
区会活動委員	25・文化B	千田 銈三	西
〃	24・文化A	加藤 純子	東
〃	25・文化A	森川 利貞	千種
〃	25・生活A	犬飼 秋芳	熱田
〃	26・陶芸	小南 勝	天白

新役員紹介と活動目標

「魅力ある鯨城会に」

副会長 河合 世輝代

早いもので、昨年4月鯨城会幹事として幹事会に出席させていただいてから1年が経過しました。若松前副会長は未熟な私に、行事の段取りや講演会&OB文化祭など女性ならではの気配りを教えていただきました。

平成25年度は堀場会長指導のもと、在校生の地域ミーティングを授業の一貫として学園活動や地域活動における実践体験など、新しい企画活動に取り組んでいきたいと思っております。また、更に充実し活気あふれる鯨城会になれます様、幹事の皆様及び、区会代議員の皆様方のパイプ役として裏方に徹していく所存でございますので、皆さま宜しく願いいたします。

「副会長に就任して」

副会長 柘植 鍾二

平成25年度、副会長として重責を担う事になりました、緑鯨城会(24期 生活A)柘植です。副会長の責務は、会長を補佐し、各委員会・区鯨城会の活動を円滑に運営していただける環境作りが役割と考えています。鯨城会も新しい取り組みが始まります。改変し、前進しなければいけない大事な年となります。会員皆さんが協調・協力して諸々の活動を推進していく事が肝要と思っております。その為には情報等をきめ細かく密接にしてより良い会にしたいと思っております。会員一人ひとりが「楽しく・元気で・明るく」活躍できますように鯨城会運営の一助になるよう努力しますので、宜しく願いいたします。

「信頼される総務を目指して」

総務委員長 福島 健治

昨年南鯨城会(こなみ会)から鯨城会幹事に指名され、最早一年を経過しました。

4月23日(月)初めての幹事会終了後、前委員長より鯨城会の役割、鯨城会則、細則、総務の職務の説明があり大変な役割を引き受けたのだと悩みました。

職務内容は、会員情報の把握、会場の設営、会議資料の配布、会議の議事録作成等、他の委員会に属さない会務全般の業務に当たることとなっております。

前委員長から縁の下の力持ち的存在であると聞かされ、職務が多岐に亘りますが、各委員会から信頼される総務を目指して努力したいと思っております。各種行事については、各委員会との連携を密にして支援、協力を惜しまず業務を遂行する所存ですので宜しくお願い致します。

「行事委員長就任にあたり」

行事委員長 山崎 廣徳

基本スタンスとして公明公正、平等協調性に向けて進みたいと思っております。が? 公開講演会は当然の事として、毎年、各区鯨城会が主催して区作品展を開催して皆様方を楽しませておられます。しかし目で見えても耳で聞かなくても、形の無い物があり、留めて置く事が出来ない物があります。無形作品群です。これは形がありませんが作品です。

これらを鑑みて昨年度は特定クラブ群に会場と予算を加え、更に会場運営や人的応援48人以上で行っております。他の作品展群に比して余りにも偏り過ぎていないか? 唯、無形作品展は主に舞台表現作品

になる為、場所と空間さえあれば何処でも良いと云う事にはならない難点があり、又、会の性質上市内全般に会員が広がっている事等もある為、配慮は必要かと思っております。鯨城会全会員のチエと力をおかしいたいて首尾よく、運営を考えたいと思っております。鯨城の皆様ホールに集い、学友に互いの顔を見せましょう!

「社会奉仕活動委員会の活動」

社会奉仕活動委員長 稲田 萬吉

今年度二年生は2人で全員では5名ですが一所懸命頑張って任務を遂行したいと思います。

鯨城会の皆様、ボランティア活動にご参加下さるようお願いいたします。

1 ボランティア活動

- (1) 6月1日(土) 名古屋市一斉クリーンキャンペーン(各区対応)
- (2) 7月13日(土) 堀川清掃大作戦(鯨城学園)(鯨城・堀川と生活を考える会)(鯨城会)(学生会) オール鯨城として共催
- (3) 10月5日(土) 鶴舞公園クリーンキャンペーン鯨城会主催
- (4) 年間図書室ボランティアの運営管理

2 社会奉仕活動委員会の開催

- (1) 第1回 平成25年5月23日(木) 13:00 8階第2講義室
- (2) 第2回 平成25年9月26日(木) 13:00 8階第2講義室
- (3) 第3回 平成26年2月20日(木) 13:00 8階第2講義室

「区会活動委員長に就任して」

区会活動委員長 栗木 一

平成25年度の区会活動委員長に就任しました名東鯨友会所属の栗木でございます。

本年度の区会活動委員会の主要行事についてお話したいと思います。鯨城会グラウンド・ゴルフ交歓会は毎回、これまで200人を超す鯨城会会員の皆様にご参加頂いております。

本年度も名古屋・鶴舞公園陸上競技場を会場として青空の下で存分にプレーを楽しんで頂けるよう、第10回大会(9月30日)、第11回大会(平成26年3月24日)を開催する計画であります。

また、もう一つは各区会への入会促進を図ることです。我々鯨城学園卒業生に期待される地域活動をより一層盛り上げるべく、各区会との密接な連携を図りながら、来春卒業の27期生が1人でも多く各区会へ入会されるよう積極的な働きかけを行っていきたく考えております。

この1年間よろしくお願い申し上げます。

「何時も身近にある情報誌を目指して」

広報委員長 舘 敏也

今回、行事委員から未知なる広報委員に、しかもその長にという無茶な環境に飛び込むことになり、私を知る者は呆れ、心ある友は心配事の一つとして共有してくれていると、勝手に思っているのですが…。さて、広報に何の知識も先入観も無い者としては、「知りたいことが伝えられ、伝えたいことが伝わっている鯨城ニュース」という当たり前の状況にすることのみを念頭に置き、当たり前の事を愚直にやり続け、情報収集力と情報編集力を高めつつ、会員相互の距離を一步でも近づけて、結果として鯨城会に対する皆さんの参画意識が向上する一助になることを目指します。ホームページと鯨城ニュースは相互に補完し合う関係に置き、共に何時も会員の皆さんの身近にある存在としていくことが必要だと考えています。

平成 24 年度名古屋市高年大学鯉城会決算書

1. 貸借対照表 (平成 25 年 3 月 31 日現在) (単位：円)

勘定科目	金額	勘定科目	金額
現金	139,101	次年度入会金	420,000
銀行普通預金	1,867,821	区会入会金	840,000
銀行定期預金	1,000,000	学園 30 周年記念事業積立金	1,000,000
		準備金	746,922
合計	3,006,922	合計	3,006,922

2. 収支報告書 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日) (単位：円)

	勘定科目	予算額	決算額	差額	摘要
収入の部	繰越金	106,772	106,772	0	
	入会金	439,000	438,000	-1,000	
	年会費	1,035,000	1,050,900	15,900	
	助成金	342,000	342,000	0	
	雑収入	500	254	-246	
	合計	1,923,272	1,937,926	14,654	
支出の部	総務費	200,000	165,894	-34,106	コピー・パソコン・事務用品等
	広報費	787,000	684,726	-102,274	会誌 2 回発行・HP管理費等
	行事費	300,000	148,788	-151,212	公開講演会 2 回・OB 文化祭
	社会奉仕活動費	150,000	103,155	-46,845	鯉城会主催クリーンキャンペーン
	区会活動費	200,000	88,441	-111,559	グランドゴルフ開催費他
	次期繰越金	286,272	746,922	460,650	
	合計	1,923,272	1,937,926	14,654	

平成 25 年 3 月 31 日
 会長 寺田 耕一郎
 会計委員長 林 美也子

会計監査報告書

会計帳簿等を調査の結果、適正に執行されていることを認めます。

平成 25 年 4 月 4 日
 監査委員 日比野 勝
 監査委員 池田 正子

平成 25 年度名古屋市高年大学鯨城会収支予算書

(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

(単位：円)

科 目	予 算	摘 要	前年度実績
【収入の部】			
前期繰越金	746,922		1,106,772
入 会 金	420,000	26 期生 420 名×1,000 円	438,000
年 会 費	1,050,000	3,500 名×300 円	1,050,900
助 成 金	342,000	学園より助成金	342,000
雑 収 入	500	預金利息他	254
当期収入計	1,812,500		1,831,154
収入の部合計	2,559,422		2,937,926
【支出の部】			
事 務 費	180,000	通信費、文具、印刷機インク、紙費他	165,894
会誌作成費	700,000	会誌 2 回発行 計 10,000 部	653,446
H P 管理費	100,000	パソコン維持費、研修会他	31,280
行 事 費	250,000	講演会 2 回、OB 文化祭 1 回開催費他	148,788
社会奉仕活動費	180,000	鯨城会主催クリーンキャンペーン他	103,155
区会活動費	130,000	グラウンド・ゴルフ開催費他	88,441
当期支出計	1,540,000		1,191,004
記念事業準備金	1,000,000	平成 27 年度記念事業（学園 30 周年）	1,000,000
次期繰越金	19,422		746,922
支出の部合計	2,559,422		2,937,926



皆様から喜ばれる区会を目指して

—千種区— 花水木鯨城会

会長 田 畑 忠 良

4月10日に定時総会を開催し29名の新入会員を迎え、300名近くの会員組織にて、25年度をスタートいたしました。

当会の区会活動は、年々拡充の一途をたどっているように思われます。このことは、諸先輩が築いてこられた伝統を大切に受け継ぎ、時代のニーズに対応し、更なる飛躍を目指してよりよい区会にしていきたいものです。

昨年はデイサービス高齢者介護支援や清掃、美化活動など、社会活動に、延べ1,000名を超える多数の参加者がありました。各種行事も盛況で「趣味の作品展」には延べ830名のご来場をいただきました。今年度もデイサービス高齢者介護支援や茶屋ヶ坂公園の清掃活動は、もちろん子育てサロン支援の一環でクリスマス時期のサンタクロースのお手伝いや、千種区社会福祉協議会一階でカフェサロンの運営を月1回行ないます。

本年度の主な行事は、下記のとおりです。(一回でも多く積極的に参加)

- ①第10回趣味の作品展は、12月25日(水)～翌年1月5日(休館日：年末年始12月28日～翌年1月3日) 愛知県芸術文化センター

B2F アートスペース X で開催します。

- ②日帰りバス旅行(年3回)

5月31日(金) 白川郷・白山スーパー林道(新緑を楽しむ)

7月26日(金) 開田高原(そば打ち体験、源泉かけ流し温泉)

9月20日(金) 榎原飛鳥(古代の大和王権の地を巡る)

また同好会は現在12団体(ゴルフ、太極拳、健康体操、パソコン、いけばなと茶道、ダンス、ウォーキング、カラオケ、写真、グラウンドゴルフ、囲碁、クッキング)が活動しています。更に昨年度発足の「地域会」発展を目指し、自発的に何かをやらなければとの意識を持っていただければ、うれしく思います。

会員から喜ばれる、地域から評価される、存在感のある、花水木鯨城会をめざして皆さん頑張りましょう。(24期・環境)



初夏のお花見 可睡ゆりの園と加茂花菖蒲園



鯨城会を楽しもう

—東区— 東鯨城会

会長 神 部 泰 三

皆さん初めまして、東鯨城会代表の神部と申します。

この度、代表という大役を担う事となりましたが大変恐縮しております。

まず初めに、皆さん鯨城会ってどんな会かご存知ですか？

鯨城会とは、様々な活動をしながらボランティア活動をして、社会に貢献していく会です。しかし、ボランティア活動だけが全てではありません、一年を通し、四季折々を楽しみながら活動的に動き、人と人との交流を深めていく場でもあります。その中でボランティア活動を取り入れて活動をしているのです。

私自身も最初は、あまり理解もせずに入会しました。しかし、今は鯨城会に出会えた事、思い切って入会した事、本当に良かったと思っています。と言うのも、この私達世代は当たり前の事ですが老いていくばかり、また同様に友人も減り、仲間と会う機会もどんどん少なくなっていくのが実状です。しかし、私にとってこの

三年間は、老いていくどころか、逆にアグレッシブに動き回りボランティア活動の素晴らしさを知ると共に、多くの友・仲間を作ることが出来ました。

自分でも信じられない程飛躍的に変わっていった事に驚いています。そして自分は何と幸せな者なのかと痛感しています。

今現在入会されている方々、これから仲間に入ろうかと検討中の方々に、もう一度学園生活を思い出して頂き、その時と同じ様に学び・遊び・語り合える場を持って欲しいと私は思います。

私達の世代は、新たに何かを始める事、友人や仲間を作ること、大変難しいことなかもしれませんが、でも一歩踏み出して見て下さい、その一歩で、これからの人生が今よりも楽しく、笑って充実あるものに変化するかもしれません。それが鯨城会という場なのです。

私達鯨城会の皆と共に楽しみ活動しませんか。(25期・環境)



—北区— 北鯨城会

花がいっぱい

会長 秋田輝長

高年大学鯨城学園は、我々の懸命な努力により存続に向けて動き始めております。

今年度は、存続への取り組みに力を注いできたエネルギーを北鯨城会の中にむけていきたいと思っております。

北鯨城会は、会員 289 名で出航しました。4月1日には、桜満開の中 190 名の参加で観桜会を開催しました。グループごとに分かれ自己紹介をしながら親睦を深めることができました。今後、夏季の見学会と秋季の旅行、忘年会を通して親睦が深まることでしょう。

昨年度で一番親睦を深めることができたのが各ブロック（8 ブロック存在）で行われた「ミニ集会」です。月に一度、近くの喫茶店や学校の特活室に集まり、事業報告や近況報告、勉強会等をしたことで結束を固めることができました。まだミニ集会をしていないブロックがあるので、行うことができるように、補助金を付与

するなどの対策を講じたいと思っております。

北区社会福祉協議会、老人会、北

土木事務所、名城公園フラワープラザ等との関係で奉仕活動の機会を多く持つことができるようになりました。新しい活動として、名城公園にてコスモスやチューリップの球根の植え付けをしました。4月の初旬には、いろいろな色のチューリップが咲き誇っております。豊かな気持ちにさせてくれました。この美しい花の心を持って生きたいと考え、特に一人住まいの方に一輪の花をプレゼントするイベントを考えております。ご協力をお願いいたします。

(23 期・園芸)



—西区— 西こじょう会

現役の皆さんと一緒に

会長 陸浦幹雄

西区は人口約 145 千人で庄内川を挟んで北と南に分かれていて、南は旧西区（浄心界限）北は新西区（上小田井駅界限）である。

西こじょう会の活動拠点は（旧西区内）天神山福祉会館と西生涯学習センターで会議、同好会等を開催しています。

今年は 26 期生の方が 25 名入会で 236 名の会員となったが、幹事選出に会員の片寄りがあり、中学校区割りに大変苦労がありました。でも会員の協力で編成が出来た事を感謝しています。

25 年度の西こじょう会は「笑顔で集い 楽しく活動 西こじょう会」をスローガンに掲げて前進します。私たちは第二の人生を楽しまなくてはいかん、余生あるうちに元気で明るく、そして集い会話をして、現役を楽しもうではありませんか。

そこで会の運営は①総務、行事、広報そしてボランティアの各委員会で親睦、交流、情報交換そして地域社会への貢献に努めていきます。

②前会長よりの学区交友会の開催についても、

今期は 2 年目に入るので新幹事に理解を得る様に努め継続を働きかけます。③同好会はボランティア活動として 10 組の同好会に会員相互が楽しく元気よく集まる事を支援します。④10 月には第 10 回総合作品展を西生涯学習センターで開催する計画をしていますので、ご協力をお願いします。⑤鯨城会の主催する行事には積極的に PR して参加します。

以上、西こじょう会は先輩、前役員、幹事の方々にめぐまれて今日があるのです。微力な私ですが頑張りますので宜しくご指導を御願い致します。(23 期・地域)



学区交友会集合写真



グラウンドゴルフ参加者



楽しむ鯨城会を目指して

一中村区一 中村鯨城会

会長 住田 修

中村鯨城会にお世話になり早1年、何の目的もなく古希を目前にして高年大学に入り、暇つぶしの軽い気持ちが思わぬ方向へ、“人生いろいろ”歌の文句じゃないけれどこれほど多くの人との出会い、経験が実感できるとは想定外でした。

鯨城に入学された皆様は、それぞれに喜怒哀楽に満ちた過去をお持ちでしょう。しかし現在は思いのほか鯨城の恩恵を受け、忙しくも楽しく過ごしていると思います。もちろんそれぞれが努力をし、健康に気を配り、頑張った結果の“今”があることは間違いないでしょう。

現在、我が国は4人に1人が65歳以上の高齢者と言われています。でも私ども高齢者は老人ではありません。まだまだ社会に貢献できる力を持ち合わせているはずです。鯨城会に所属

しボランティア等少しでも地域に奉仕できればと思う気持ちでこれからの人生を過ごせればと思う次第です。

中村鯨城会は、今年設立25周年となり長い歴史の中にいろいろな実績が積まれて現在があります。今年度は30名を超える入会者があり「健康で楽しく企画・行事に参加しよう」をスローガンに笑顔の絶えない会にしたいものです。当会は、総務・広報・行事・地域・福祉・会計の六つの委員会で構成されそれぞれに役割分担し25、26期主体で先輩のアドバイスを受けながら色々な企画発案を実施しています。とにかく、あせらずのんびり結果を気にすることなく178名の会員が一度は何かに参加して頂ける事を目標に進めていきたいと考えています。

(25期・文化A)



会員の絆を大切に

一中区一 中鯨城会

会長 多川 裕弘

図らずも中鯨城会会長の大役をいただくことになりました。会員の皆様の協力をいただいて、楽しく、生き甲斐を感じる中鯨城会にしていきたいと思えます。

中鯨城会は会員が115名と少ない反面、会員相互の親睦が図りやすいのが利点です。ボランティア活動と親睦行事を計画的に実施することにより、会員の絆を強め、元気で長生きを合い言葉に、生き甲斐を持って、毎日が楽しく過ごせるように心がけています。

中鯨城会のボランティア活動の大きな柱は、「特別養護老人ホーム ユートピアつくも」の喫茶サービスです。このボランティア活動は、会員の心のボランティアリレーにより22年以上の長きにわたって続いています。喫茶サービスに続くボランティア活動は栄と金山地区の清掃活動です。毎回20人以上の参加があります。繁華街であるため、タバコの吸い殻や、空き缶、

空き瓶、ペットボトルなど、毎回多くのゴミを回収しています。清掃活動のあとは、近くのレストランでランチを楽しみ、話に花が咲いて会員の親睦を深めています。

また、ユニークな活動として、中央福祉専門学校との交流があります。これは専門学校の活動に組み入れられており、5~6人の学生と会員がグループを作り、介護に関する時事の話題をテーマにして、話し合い活動を行っています。また、中区のボランティア組織「ボラネットなかまんなか」にも所属し、東別院夏祭りや、デイサービスなかの行事のお手伝いなども随時行っています。

高年大学の学生募集のポスターには、「学ぶところに友来る」の文字があり、2年間の学生生活で築いたつながりと奉仕の心を区内の活動に広げて、会員一人一人が生き甲斐を持って生活ができるように努めています。(23期・生活B)



一昭和区一 昭和鯨城会

楽しく笑顔で前進

会長 北川 勝彦

昭和鯨城会は、今年で22年と言う歳月が経過しました。これは一言では語れない先輩の皆様方の並々ならぬご努力が、形になった結果だと確信しております。25年度会長と言う重責を命ぜられた私にとり、プレッシャーではありますが、大変名誉な事とも思っています。これからの昭和区を、先輩のご指導を得ながら、各委員・全会員の皆様の力をお借りして一丸となって推進してまいり所存です。

今年度の目標を「楽しく笑顔で前進」と言う事で計画を立てました。まずは会議であれ行事であれ、楽しく笑顔で臨みたいと考えています。我々のようなシニアばかりの団体はもっと肩の力を抜いて楽しく進めれば良いと思うからです。当会は総務・広報・行事・ボランティアの4本柱で事業を推進してきました。それぞれの部門が事業を進める中で縄張りの垣根を取り除き、ひとつひとつのテーマを全部門が積極的に協力・応援し的確に消化をしてまいりたいと考えています。

さて前進の1番目は、広報誌の発刊の方法を変更します。年間4回発刊している鯨城だより

のうちの2回を、ページ数は減らしますがカラーに変えます。マンネリ化を防ぎ、読みやすく判りやすいものにいたします。またいつでも発刊も出来るようにします。

2番目は、昭和鯨城会で一番重要視されているボランティアです。現状のボランティアは常に同じ様な人が参加しています。その他の方々は、条件も含め参加しづらい状況になっています。そこで、全員がほぼ平等に参加できるよう各地区(学区)がこぞって一斉清掃を行う活動を増やし誰でもが近くの現場で参加する事が可能となるようになります。昨年度テスト実施した経験から参加することにより日頃、学区会に出られない方も良い話合いの場となりました。

また、ボランティア事業を主導する社会福祉協議会、区役所の福祉、町づくり推進部門や様々なボランティア団体との連携を強めて行きます。

3番目は、学区単位で作られている学区集会も中々集まりが悪く、けっしてうまく行っているとは言えません。まず、25期・26期を中心に声掛け運動を実施し、少しでも多くの方の参加を募りたいと考えています。(25期・園芸)



一瑞穂区一 瑞穂鯨城会

楽しい鯨城会にしたい

会長 長谷川 博

鯨城会の活動は、ボランティア活動のほか会員の親睦と生きがいづくりにあります。

なかでも、ボランティア活動は、公園や街路、河川などの清掃、介護施設での散歩同行、まつりの企画、マラソン、赤い羽根や被災者への街頭募金活動の手伝いなど、多岐にわたって大勢の方々が参加しています。

地味な活動ですが、わが学園の建学の精神である“奉仕の心”を胸に、楽しく参加して頂くために工夫が必要だと思えます。

親睦については、観劇や社会見学、ハイキングや旅行で、生きがいづくりは、作品展や同好

会などで、その力量を発揮することができます。

また、会員相互の交流と親睦をはかるため、年数回発行される“鯨城会便り”も、大切な活動になっています。

お互い歳を取ると、好奇心が薄らぎ、話す機会や褒めてもらうことが少なくなります。

何にでも興味を持って参加し、大勢とよく話し、お互い褒め合うことができれば、わが鯨城会を楽しくしていく道だとおもいます。

また、健康で長生きへの道でもあります。

(25期・国際)



「変化は進歩」・「変化は前進」をめざして

—熱田区— 熱田鯨城会

会長 瀧川 政久

4月3日（水）熱田鯨城会定期総会及び新会員（26期生）歓迎親睦会が名古屋国際会議場で開催されました。

25年度の活動方針は、3本の柱からなっています。

- ①会員相互のつながりを大切に充実した生活をおくるため、親睦会、見学会、機関紙の発行等を計画・実行する。
- ②鯨城学園で学んだことを活かして、地域活動に積極的に参加し、その推進的存在として活躍する。
- ③「歴史と文化のまち」熱田区の特徴を活かした活動に取り組む。

具体的な内容は機関紙「花しょうぶ」年2回発行、親睦会年2回開催、校区担当行事年3回、

名所・旧跡めぐり年2回の開催の他、ボランティア（クリーンキャンペーン、道路清掃奉仕、デイサービス・ふれあいサロン、区民まつり、名古屋マラソンのボランティア、白鳥庭園・熱田神宮ガイド等）及び各種行事（熱田生涯学習まつり、あったかあつた福祉フェスタ等）にも参加していきます。

今回の区役員は、24期、25期が中心のメンバーであり、何分にも経験不足であります。今後は、先輩の行動、考え方を踏襲するなかで少しでも変化を求め「変化は進歩」・「変化は前進」を心がけ進めてまいります。

最後に、1年後次のランナーに脱落することなくバトンタッチできることを願っています。

（24期・地域）



—中川区— 中川鯨城会

先輩に学び一歩前へ

会長 田中 利明

中川鯨城会の地元中川区は、区の名前の基になっている、中川運河をはじめ荒子川、庄内川、新川、戸田川等幾筋もの川が南北に流れています。

中川鯨城会は、鯨城学園26期卒業生39名、転籍者1名を新たに加え245名の会員組織になりました。その反面で亡くなられた方1名を含む17名の退会者を出した事は種々の理由があれども非常に残念な事態と考えています。本年の活動は、以上の反省に立ち同好会活動、社会見学活動、作品展に於ける作品点数、出展者の増加、社会奉仕活動への積極的参加等より多くの会員の方々が自己のニーズに合った場、「共に楽しむ場」に参加される様、役員一同情報の発信をすすめたい。

中川鯨城会会員245名は1期生から新入会の26期生の方々までバラエティにとんだ素晴らしい人々がお見えになられます。昨年度は新しくパソコン相談室を立ち上げることが出来ました。今後も高年大学で学んだ経験を生かし新しいサークルを立ち上げたいと思います。将来的には中川区高年大学鯨城学園になればと思っています。その為には鯨城学園、社会福祉協議会との連携を一層深める必要があります。

先人が築かれた中川鯨城会の伝統を守りつつ、本年度活動計画を役員、全会員一致協力し活動を推進いたします。私も守人としての役割をたす決意です。

（24期・国際）



平成 25 年度 「活動方針」

一港区一 港鯨城会

会長 鳥山正義

【活動状況】

私の所属する港鯨城会は、今年度新たに 25 期生 2 名と 26 期生 25 名が入会し、退会者 4 名で、総勢 93 名となり昨年より若干増となりました。16 区中でも少ない方と思いますが、少数精鋭でまとまりの良い組織です。昨年 7 月に、前会長佐藤隆之氏を中心に、SP分科会にて検討し合って助成金（Subvention project）に挑戦しました！

おかげで、見事！当選し助成金を獲得!!念願の名前入りベストが 10 月出来上がり活動にも一層力が入っています。

〈ボランティア活動計画〉

- ・地域ボランティア活動を推進する。
- ・参加しやすい。無理しない。をモットーに！
- ◆昨年 8 月より港区社会福祉協議会のボランティア団体として実践し、地域と連帯して活動。
- ☆港区社会福祉協議会と港区ボランティア連合会主催（昨年加盟し港鯨城会も参加）で、ボランティアとあそぼ!!というイベントを 8 月に港社協において応援した。今年も予定しています。
- ☆港区社会福祉協議会と港区役所主催の港ふれあい広場で、輝く未来 2012 を 10 月に港北公園と港区役所講堂にて開催しました。今年も予定しています。

☆港区社会福祉協議会からの要請で港鯨城会も協力し、新年度より荒子川公園・なかよし菜園の種まき活動を応援して行くことになりました。

◆先輩から引続いている「とだがわこどもランド」でのボランティア活動を年間通して応援してきました。今年も下記の内容で計画しています。

①年間 5 回の花の植え替え実施（5 月・7 月・9 月・12 月・3 月）

②5 月のこどもの日を中心にした「こどもまつり」5/3～5 日の応援

③8 月のとだがわスポーツ大会 8/24～25 日の応援

④10 月のとだがわこどもランド（秋祭りのボランティア）10/12～13 日の応援

◆鯨城会主催の行事への出席率の向上を目指します。

●会員の皆様が気軽に参加でき、楽しくコミュニケーションができるように努めてまいります。

●会員同士が声掛け合うようにしたい。

●同好会など新しい人が、参加しやすい雰囲気づくりに努めます。

※参加して良かったと思える、楽しみ等を増やしていく様にしたいとおもいます。（25 期・地域）



一南区一 南鯨城会(こなみ会)

活動方針

会長 佐野達郎

南鯨城会は 4 月 13 日（土）に定期総会を開催し、26 期生 20 名の新入会員をお迎えして、会員数 191 名の組織で 25 年度をスタートしました。当会の区会活動は諸先輩が築いた伝統を大切に受け継ぎ、更なる発展と基本方針を充実していく事が使命だと考えます。南鯨城会（こなみ会）の会則では、「地域社会への貢献・奉仕活動の実践」並びに「会員相互の親睦を目的とする」とあります。地域社会への貢献と社会奉仕活動では、一層の実践・充実が求められています。ボランティア委員中心から、行事委員・総務委員等が一丸となって活動を拡大して行きます。

◆今年の目標は、南区社会福祉協議会主催の「さわやかウォーク」障害者と区民の集いに参加する事です。昨年は雨天の為中止になってしまいましたが、昨年のプランを引継ぎ実践する事です。会場出入り口の交通整理・ごみの分別・あるいは障害者と共にウォーキングを楽しみ、

笑顔で接する事です。小さな一歩ですがいずれ大きな一歩になる事を確信しております。また、環境にやさしい取組みのひとつに区会では《環境デーなごや中央大会》に「おもちゃの銀行」が毎年参加をしております。「おもちゃ」の無償提供やお客様のお持ち頂いた「おもちゃ」と交換会をしております。活動日は毎日曜日午後 1 時～3 時までイオン新瑞橋店北筋の「ひまわりハウス」でお待ちしております。

◆「会員相互の交流と親睦」を深める機会は、「社会見学」「趣味の作品展」「親睦バス旅行」などありますが、特に「趣味の作品展」は一般区民の皆様によく参加して頂く為に募集の段階から PR 活動が必要と考えます。南ホームページの活用・区役所内にポスターを貼る、などして一般区民にもっと鯨城会を知っていただき、会場で語らい親睦を図って行きたいと思えます。

（24 期・陶芸）



明るく、楽しく、元気よく

—守山区— 守山鯨城会

会長 箕浦元佳

平成2年11月に発足し、23年の歴史があります。会員数は26期生36名を迎え304名です。緑区名東区に次ぐ大世帯になりました。中学校区で7地域で構成され、会員の相互交流・親睦も活発に行われています。

学園の趣旨である高齢者の生きがいつくりと、地域活動の核となる人材の養成を目的として、活動を進めていきます。その為には地域に密着する必要があります。現在、守山区の老人クラブは、各学区の連合会所属クラブ数が61あります。老人会加入会員数は前年12月末で41名加入していて、会長職や理事役員等で活動が続いています。25周年を迎える頃には、倍の80～90名程まで入会するように進めていきたい。

青少年の育成では、名古屋市の児童自立支援施設「玉野川学園」の環境整備と学生との交流を図っています。花の苗を植え、除草、水やりなどの実施、農園の整備・栽培、ジャガイモ、玉葱、里芋など農野菜の栽培実施、学園側の授業カリキュラムの中で「農作業」に対応し、共同で農作業を通じて交流を図り、花見会、収穫

祭、園遊会など生徒と多面的な交流で青少年育成に貢献しています。昨年11月に鯨城会主催の「いも煮会」を学園で、生徒（小学～中学生）さんを招待し開催しました。会員は62名参加し、賑やかに楽しくおこないました。生徒さんは全寮制で親とは離れていて、厳しくかつ単調になりがちな学園生活の中でこうした招待を大きな喜びであったと思います。終わった後で生徒さん達の「作文」と学園長の感謝の念に絶えまじと云う「お礼のお手紙」が鯨城会に届けられました。いも煮の材料は学園の農園で栽培した里芋等を使用しました。

行政（社会福祉協議会、区役所、土木事務所）から、ボランティアの依頼も多く受けています。そのなかで「守山鯨城会」は大きく育っています。「明るく、楽しく、元気よく」活動を続けてまいります。

(24期・生活B)



健康で明るい緑鯨城会を目指して

—緑区— 緑鯨城会

会長 伊藤文雄

4月4日の総会で承認され私が平成25年度の緑鯨城会会長としてスタートしました。今年は26期生54名の方が入会され総会員数は337名の大所帯になりました。

私は72歳の時鯨城学園に入学し2年間の学園生活の内、学科（園芸）でもクラブ（書道）でも知識・経験が豊富で行動力のある素晴らしい人ばかりで幸せな学園生活を送る事が出来ました。緑鯨城会も同様に素晴らしい人ばかりで、今年の各委員長はこの2年間運営委員、役員として一緒に過ごして来た仲間です。微力な私は各委員長にサポートして頂き1年私なりに努力して行きたいと思っております。各委員会として「行事」では4月の総会、趣味の作品展、区民祭への参加、見学会、旅行にて仲間との交流を深め、同時に社会参加、地域の再発見「広報」では会員へのタイムリーな情報提供、広報誌（ふれあい）を年3回発行、鯨城会ホームペー

ジ「区会便り」の情報の充実、「ボランティア」では、清掃ボランティア（新海池公園周辺・要池公園周辺）、特別養護老人ホーム及び緑市民病院のボランティアを定期的実施、又、雑巾ボランティアは年中受付け、毎年12月に各施設に配布して喜ばれております。その他、名古屋市、社会福祉協議会、鯨城会関係のボランティアへの参加をしております。厚労省2010年発表による健康寿命は男性70.42歳、女性73.62歳、これに対して平均寿命は男性79.55歳、女性86.3歳この健康寿命と平均寿命の差をいかに元気に過ごすかを皆で考え、会員の皆様が元気で明るく生活され、各行事やボランティアに1人でも多く参加して頂ける緑鯨城会の運営を進めたいと思っております。会員皆様の英知と豊富な経験を結集して魅力ある緑鯨城会をめざします。

(24期・園芸)



更なる飛躍を目指して

一名東区一 名東鯪友会

会長 竹尾 明

予期していない大役を、お引き受けすることになり身のひきしまる思いです。

年は取っていても、いたって未熟者で格式ばったことは、好きではありません。お付き合いもヘタで特に近ごろ耳が遠く、物忘れが多く頼りにならない者ですが、お引受けしました以上、何とか皆様のお役に立てるよう頑張るつもりです。

現在名東鯪友会会員は、326名になりました。鯪友会発展のためには、皆々様の建設的な、ご意見、ご相談をお待ちしています。

さて鯪城会では『会員相互の交流と親睦』地域社会に貢献と言うスローガンを立てています。名東鯪友会でも、毎年6回程度社会見学、春秋野外活動、日帰り研修旅行など交流、親睦に、企画担当者が会員の安全、安心を考慮しながら参加を呼びかけ計画を立てています。又、同好会（各種グループ）やボランティア等常に交流、親睦、社会貢献を念頭に置きながら、活動して

います。

要するに、出来る人が、出来ることを、出来る時に、出来るように、前もって内容をお知らせすることを、もっと早く、お知らせできればと思っています。

仕分けの問題で、会員の方には、動揺がありました。名東鯪友会は元気で活動的です。このことは諸先輩が築いてくれた結果であり、時代のニーズに対応した運営をして来たからであり、このスタイルを、更なる飛躍を目指して、より良い会にしていきたいと思っています。それには、皆様の忌憚のないご意見やご協力が必要です。

申すまでもありませんが、健康管理には充分お気を付け願って楽しく過ごして下さい。

鯪友会同士の触れ合いは勿論広くお友達と接し明るく楽しい日々を暮らすことが、交流、親睦の第一歩ではないでしょうか。（24期・園芸）



一天白区一 天白こじょう会

存続の危機

会長 豊田悦造

昨年は、創立22年「地域貢献・福祉ボランティアへの挑戦」のスローガンをかかげて活動してきました。しかし、26期生の天白こじょう会への入会者は、28名中16名しかいない、まさに存続の危機と思われる。地域ミーティングの進め方に不備があったのかと反省をしているものの、まだ活動に参加していない26期生になぜ避けられているのかわからない。

入学案内には、学園設立の趣旨と教育方針が明記されている。

- 1、人口の高齢化にともない、急増する高齢者の生きがいづくりと、地域活動の推進者としての力量を高めるための、生涯学習の場として設立した。
- 2、卒業後も積極的にさまざまな地域活動に参加し、その推進者的存在として活躍することを強く期待する。

と記述されている。それではなぜ入会者が少ないのか。自問自答してみると、

疑問1、地域ミーティングで入会の必要はない

と声高に発言する者があったが、その影響を受けたのか、もし仮にそうなら非常に残念である。

疑問2、公的機関が実施する文化的な生きがいづくりはなぜ必要なのか、

近年、人生80年、65歳定年ならあとの15年はどう生きるのか。

疑問3、ボランティアとは何なのか、

地域社会とは、近所にどのような住民がいるか、仕事に追われ、家族のために必死に働いてきた私にはわからなかった。そこで、これで良いのかと考え、町内会長などを引き受け少しは自分の住んでいるところを知ることが出来るようになった。地域の人から御苦労さまとって頂けることが、社会参加をしている実感になった。

今年2年目を迎えることになった会長の職責を「楽しく・元気に地域貢献」福祉ボランティアにも積極的に参加したいと思う。（24期・美術）

平成 25 年度の地域ミーティングについて

教務担当 喜 多 島 慎

昨年度より始めました「地域ミーティング」につきましては、鯨城会及び社会福祉協議会の多大なご協力により一定の成果をみることができました。ありがとうございました。アンケート結果をみましても、在學生、鯨城会、社会福祉協議会すべてで、「地域ミーティング」を行うことは在學生と鯨城会、社会福祉協議会を結ぶ意味でも意義あることとのご回答をいただきました。

本年度は、學生の在学期間 2 年間にわたる「地域ミーティング」の完成の年度として、新しい試みも加えさせていただいています。

本年度の日程と内容は下記の通りです。特に 6 月 7 日の第 3 回「地域ミーティング」は、本年度が最初の取り組みである地区で実施する体験活動を予定しておりますので、鯨城会の皆さまのより一層のご助力をお願いいたします。

	第 1 回 (入学式後)	第 2 回 (1 年 2 学期)	第 3 回 (2 年 1 学期)
日 時	4 月 12 日 (金)	11 月 27 日 (水)	6 月 7 日 (金)
目 的	相互理解と コミュニケーション	自己表現と ファシリテーション	体験活動
テーマ	学園生活への抱負と地域活動	学園活動と地域活動	地域活動の実践体験
内 容	・各区に分かれ、自己紹介 と区会・区社協の理解	・各区の中でグループに分 かれ、これまでの学園生 活を振り返り、今後の地 域活動にどうつなげてい くかを考える。	・実際に各区に出かけ、現 地で清掃活動などの地域 活動を体験し、卒業後の 活動につなげる。

平成 24 年度末 人事異動

美術学科教授 退職 鶴田 和夫 (平成 24 年 10 月退職→非常勤 飯田信康)
 新任 鈴木 靖之
 事務主事 転出 都筑 智子 (名東児童館へ)
 転入 高橋 彰子 (熱田区社協より)

平成 25 年度 公開講座予定

H25. 5. 10 (金) 大衆音楽と日本文化
 (毎日新聞社学芸部専門編集委員 川崎 浩 氏)
 H25. 6. 19 (水) 国鉄の廃線・愛岐トンネル群 ただいま再生中
 (愛岐トンネル群保存再生委員会副理事長 村上 真善 氏)
 H25. 9. 27 (金) 迎賓館赤坂離宮七不思議 (帝京大学教授 小林 秀明 氏)
 H25. 12. 4 (水) 名古屋の近代建築 (飯田 喜四郎 氏)
 H26. 2. 21 (金) ラウム歌声喫茶 (栗田 さかゑ 氏 亀谷 登志子 氏)

平成 25 年度 納涼健康講座

夏季休業中 (7 月下旬から 8 月上旬) に実施 (検討中)
 「脳トレ (パズル) で健康」「みんなで歌って健康」「歩くこーと健康」
 「夏バテ解消で健康」「人の輪で健康」

鯉城学園存続にあたって

学生会会長 伊藤正義

名古屋市の行政評価が一昨年秋、実施され、「廃止」の判定を受けました。在校生はもとより、卒業生の方々にも大きな衝撃が走りました。

しかし、学園の在學生、鯉城会の皆さまの懸命な働きかけがあって、「抜本的な見直し」を前提とした「継続が妥当」との結論を得て、今年、28期生を迎える事が出来ました。本当に有難うございました。

鯉城学生協議会では、学園生全員を対象にしたボランティア活動の実態アンケート調査を実施しました。この結果、多くの在校生が地域社会に貢献している事実を確認しました。

また、鯉城学園学生協議会と鯉城会が共に活動した「堀川清掃」「鶴舞クリーンキャンペーン」「名古屋ウィメンズマラソン」「東日本大震災義援街頭募金」といった社会参加活動は、名古屋のシルバー世代の活性化に大いに役立った



活動だと確信しています。

26年度からの鯉城学園は、新しい時代を迎えようとしています。しかし、「高齢者の生きがいづくり」や「地域活動の推進者としての力量をたかめる学園」としてのモットーは永遠に引き継がれると確信します。(27期・生活A)



心はだれにもみえないけれど 心づかいは見える

学生協議会社会参加小委員会委員長 青木宏允

このコマーシャルを切ない気持ちで見てから2年が過ぎました。

鯉城学園学生会は心が見える形にと、社会参加小委員会を立ち上げています。そしてこの2月、27期の各クラスに1名の社会参加委員が誕生しました。まずは「はいかい高齢者おかえり支援事業」に参加しましたが、具体的な活動はこれからです。学園や社会福祉協議会、OB

鯉城会の先輩諸兄と連携の方策も思考しながら全学生を巻き込んでボランティアを中心とする社会貢献活動を推進してまいります。25年度は28期生の新たなクラス社会参加委員も加わり総勢28名体制になる予定です。力を合わせて取り組んでまいりますので皆様のご指導、ご支援をお願いいたします。(27期・国際)

第9回グラウンド・ゴルフ交歓会成績表

平成 25 年 3 月 25 日(月) 鶴舞陸上競技場

	順位	氏名	区	2ラウンド(16ホール)			順位	氏名	区	2ラウンド(16ホール)	
				1打回数	2打回数					1打回数	2打回数
A ゾーン	優勝	岩田 裕夫	港	1	38	C ゾーン	優勝	本田 英典	東	2	36
	準優勝	馬場 義勝	瑞穂	1	38		準優勝	吉永 忠弘	西	1	36
	3 位	村上 吉秀	天白	1	41		3 位	伊藤 法子	北	2	38
	4 位	伊藤 久雄	中	0	42		4 位	近藤 信雄	西	1	40
	5 位	武藤 勉	守山	0	42		5 位	瀬川 剛	中川	1	41
B ゾーン	優勝	増井 周作	天白	2	37	D ゾーン	優勝	中岡 正道	昭和	1	37
	準優勝	峯田 進	千種	1	37		準優勝	山道 慶子	南	1	38
	3 位	遠藤 昌巳	中川	0	40		3 位	田中 次郎	天白	1	39
	4 位	洞谷 弘行	中川	1	41		4 位	木下 幸紀	千種	1	40
	5 位	蓬菜 賢	名東	1	42		5 位	草塩 正治	北	1	42



「こころの絆創膏キャンペーン」に参加

社会奉仕活動前委員長 高橋 修身

「お早ようございます。名古屋市からです。こころの絆創膏をお配りしています。」「こんにちは、名古屋市です。絆創膏をお配りしています。どうぞ。」絆創膏を入れた袋と数枚の絆創膏を手に持ち、大きな声で通行される人に何十回、何百回と声をかけて絆創膏配りをしています。

鯉城会では、本年度も名古屋市の要請を受け、昨年6月には21日間、朝、夕別々の所で計42個所、1個所3名以上、計126名以上。今年3月には20日間、計40個所で120名以上、各区2~3個所受け持ち、配布していただきました。

配布枚数は市の委託を受けた人4名と鯉城会の3名、計7名で1個所2,000枚です。6月は84,000枚、3月は80,000枚となりました。

同市が行っている「こころの絆創膏キャンペーン」の趣旨は、名古屋市の自殺者が平成10年以降年間400人~500人で推移しております。市ではうつ病が自殺に深い関わりがあると言われることから、うつ病に関する正しい知識を啓発し、相談機関等へ相談を促すために絆創膏にその旨記載し、啓蒙しているものです。

(23期・福祉)



第3回 OB 文化祭

鯨城 OB 文化祭開催顛末話

行事委員長 山崎 廣 徳

始めに西前行事委員長より下命され僭越ですが、OB文化祭の顛末をお話いたします。

24年度4月早々に行事委員6名が会した時に、委員長は第3回鯨城OB文化祭を執行するに当たり、昨年のような事の無い様にくれぐれも注意してほしい旨の講話があった。

8月よりクラブ代表との連絡調整会等を月一行ったが、3回目迄は舞台設備具、出場者資格の件で紛糾して私などは気分が萎えた。11月からは出演順序が決まり、各クラブの舞台台本とのすり合せ個別面談を行い、いよいよ文化祭に向けて動き出し、今年はリハーサルを兼ねて舞台場での立位置、CD再生等を行い本格的に本番に向けてエンジンが掛かった。

行事委員会の今年度の新機軸として

- (1) 舞台設営の簡略化(省作業化)全員徹底
舞台設営関係者には主に使用するマイクイメージ図と特徴を案内して理解を深めた。
- (2) マイク設営の簡略化を特に意識して舞台場の拾音にはゼンハイザーマイク4本を主力とした構成として舞台場全音を拾う様に考えた。不使用時には下る

だけにして、格納や再設営の手間の省略化を計った。

- (3) 幹事委員全員に、舞台演技の流れと設営機器等の準備メモ指示書を渡して周知を計った。
- (4) 舞台責任者、行事委員には進行指示書を作って配布、全クラブ用細部指示書とした。
- (5) PR策として学園近隣に住む人達には、近傍の喫茶5店にポスター掲示を一週間ほど前から張出しのお願いをした。
- (6) 会場来場者には、一階玄関先に大形ポスターの掲示をして、案内とPRと文化祭参加印象度UPを計りお迎えしたが、色付きでなかった。
- (7) その他の策を労し今回の開催となったが、やはり小さなミスは散見されたが、昨年のようなポカミスは防げた。アンケートによると、82%強はほぼ良く、よくない3件、無回答43件。

最後にワイヤレスマイクの不調で、クラブ代表の挨拶が会場に通らなかったのが心残りだった。 (24期・園芸)



平成 25 年度各区会展示会予定について

区会が主催又は参加している平成 25 年度の展示会は下記のとおりです。詳細については各区会が発行する会誌、チラシ、ホームページなどをご確認ください。

区	区会名	作品展日程	会場	展示会名
千種区	花水木鯨城会	平成25年12月25日(水)~26年1月5日(日) (年末年始休業日12/28(土)~1/3(金))	愛知県芸術文化センター B2F アートスペース X	第 10 回 趣味の作品展
東区	東鯨城会	平成25年10月24日(木)~27日(日)	名古屋市市政資料館	第 9 回 ふれあい作品展
北区	北鯨城会	①平成25年11月9日(土)~10日(日) ②平成26年2月下旬	北生涯学習センター 黒川ギャラリー	北生涯学習まつり協賛作品展 第19回 趣味の作品展
西区	西こじょう会	平成25年10月1日(火)~5日(土)	西生涯学習センター	第 10 回 総合作品展
中村区	中村鯨城会	平成25年11月下旬	地下鉄東山線 本陣駅構内 本陣ギャラリー	中村鯨城会作品展
中区	中鯨城会	平成25年10月9日(水)~12日(土)	名古屋市市政資料館	趣味の作品展
昭和区	昭和鯨城会	平成25年10月22日(火)~24日(木)	昭和区役所 6階 会議室	昭和鯨城会 趣味の作品展
瑞穂区	瑞穂鯨城会	平成25年10月29日(火)~11月4日(月)	名古屋市博物館 3階 ギャラリー第4室	第 18 回 瑞穂鯨城会 趣味の作品展
熱田区	熱田鯨城会	平成25年11月9日(土)~10日(日)	熱田生涯学習センター	熱田生涯学習まつり 趣味の作品展
中川区	中川鯨城会	平成25年6月11日(火)~12日(水)	中川区役所 講堂	中川鯨城会作品展
港区	港鯨城会	平成25年12月6日(金)~8日(日)	名古屋ポートビル 2階 展示回廊	第 11 回港鯨城会 趣味の作品展
南区	南鯨城会 (こなみ会)	平成25年10月18日(金)~19日(土)	南区役所 2階講堂	第 13 回こなみ会 「趣味の作品展」
守山区	守山鯨城会	平成25年10月16日(水)~20日(日)	市民ギャラリー矢田	守山鯨城会 趣味の作品展
緑区	緑鯨城会	平成26年2月22日(土)~23日(日)	緑区役所 講堂	趣味の作品展
名東区	名東鯨城会	平成25年6月14日(金)~16日(日)	名東区役所 講堂	名東区文化協会 「総合美術展」
天白区	天白こじょう会	平成25年10月5日(土)~6日(日)	天白生涯学習センター 2階	趣味の作品展



表紙説明

<松重閘門(まつしげこうもん)>

名古屋の中心部を流れる堀川と中川運河を結ぶ水路の水位調整と船の通航を目的に昭和5年に建設されました。閘門には4つの塔があり2基1組で、高さは21mあり中には水門を上下に開閉するための錘を格納しています。水門を開閉して区画(閘屋)の水量を調節して船を昇降させることにより、運河と堀川を往来することが出来ます。物流の大幅な変化により、船からトラックなどの輸送に変わり、閘門は昭和51年にその役目を終えました。中川運河が建設された当初は「東洋一の大河」とも呼ばれていました。松重閘門は昭和61年名古屋市文化財に、平成5年都市景観重要建造物に指定されました。

文 写真 荒川武光(23期・文化A)

計 報

平成25年3月31日現在

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。(敬称略)

小林 孝雄	(16・地域)	24. 9. 26	安部美貴子	(20・文化B)	25. 1. 1
水谷 信義	(20・生活A)	24. 10. 9	水谷 欽哉	(17・生活B)	25. 1. 9
加村 静子	(15・生活A)	24. 10. 26	岡田きよゑ	(22・文化B)	25. 1. 10
岩月 智弘	(11・健康)	24. 10. 26	石川 求	(17・文化B)	25. 1. 13
佐藤 正志	(24・地域)	24. 11. 16	水谷 宣正	(24・園芸)	25. 1. 18
鈴木 恪郎	(17・地域)	24. 11. 29	石井 清己	(16・生活A)	25. 2. 6
加藤 龍馬	(18・健康)	24. 11. 30	久保谷米子	(2・生活)	25. 2. 19
齊藤 義典	(17・地域)	24. 11 ☆	鈴木 一夫	(13・文化B)	25. 3. 2
今枝 正巳	(3・園芸)	24. 12. 14			

【お詫びと訂正】

鯉城ニュース23号10頁で福祉活動委員長堀井隆子さんが(24期・健康)となっているのは、(23期・健康)の誤りでした。訂正し、お詫び申し上げます。

編集後記

マリリン・モンローの日を御存じでしょうか? 1926年の6月1日にマリリン・モンローがロサンゼルス市に生まれたのを記念して、ロサンゼルス市とハリウッド商工会議所が1992年に制定しています。6月1日は、電波の日、気象記念日、国際子供の日でもあるのですが、我々に馴染みがあるのはやはり「衣替え」でしょう。

衣替え(衣更え)は、中国の風習に倣って旧暦4月1日と10月1日に夏服と冬服に着替える日で「更衣」といい、この習慣は平安時代から始まりました。天皇の着替えの役目をする女官も更衣といい、後に天皇の寝所に仕える女官を指すようになり(例えば源氏物語の桐壺の更衣)、民間では「更衣」と言わずに「衣替え」と言い、江戸時代頃から6月1日と10月1日になりました。

6月1日発行の本誌は衣替えとはいきませんが、鯉城学園の抜本的改革に伴い、鯉城会もその影響を受け始める年に当たり、新役員がそれぞれの思いを込めて、抱負、方針等を熱く語っています。

広報委員会はほとんどが新メンバーとなり、まさに衣替え状態です。季節を誤った衣替えの感否めず、いささか不安な船出ではありましたが、諸先輩の温かい支援と先輩委員の水先案内よろしく、個性を發揮しつつ気持ちがあまく噛み合い、色々な意味を込めて、この衣替えはうまく行ったと思っています。

最後になりましたが、鯉城ニュース24号を発行するにあたり、ご協力を頂きました皆様に感謝し、心より厚くお礼を申し上げます。

広報委員: 館敏也・梅田国清・原清隆・岩井海南子・猪飼甫・中村さよ子・佐野朋子
ホームページ担当 池田正子

第二十八回
公開講演会

お姫様、よもやま話



『講師プロフィール』

略歴

第12代犬山城主、成瀬正俊の長女として東京に生まれる。
昭和女子大卒業。

大日本印刷、凸版印刷、電通テックに勤務。

平成12年1月、父正俊より、国宝犬山城と成瀬家伝来の
所蔵品の維持保存を全面的に任される。

平成16年4月、財団法人「犬山城白帝文庫」を設立、
理事長に就任。

平成25年4月、公益法人「犬山城白帝文庫」となる、
白帝文庫を通し、文化財の維持保存と、
古くて新しい情報の発信に尽力、
継続進行活躍中。

講師

公益法人「犬山城白帝文庫」
理事長

成瀬 淳子 氏



テレビ放送等で、よくお見かけする元犬山城主成瀬家の御子孫で、お姫様。いよいよ鯉城の講演会に御登場頂けます。報道でない、生身のお姫様に、御自見得致しましょう。お姫様のお姿、お声を、そして歴史のうねりの中に飛び込もう、脈々と流れ続けるDNA、血族でない語り継がれ得ない秘話、私共には到底知り得なかった事実等、…どんな物語を？お話頂けるのか、今からワクワク、ドキドキ、さあ～！皆様来場してお伺い致しましょう。 行事委員、山崎記

◇月 日 平成25年7月4日 (木)

◇開 場 12:30

◇開 演 13:30～15:00

◇場 所 伏見ライフプラザ5階鯉城ホール
(中消防署・階上)

◇入場無料 多数お誘いご来場ください
要約筆記・手話通訳も準備

主催 名古屋市高年大学 鯉城会
問い合わせ先 052-222-7521

